

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

vol.31



写真:間伐により光が入り明るくなった奥山林
(佐野市飛駒地区)
—とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業—

▼特集

- ①ご存じですか? 「森の学校」
- ②効果的な緩衝帯整備でイノシシ被害軽減! (明るく安全な里山林整備事業)
- ③バスツアーで学びに行こうよ! 「とちぎの元気な森づくり」
- ④とちぎの元気な森づくり基金にご寄付をいただきました

▼部会だより

木づかい推進部会、普及・啓発部会、森づくり推進部会

発行元: とちぎの元気な森づくり県民会議
事務局: 宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内
連絡先: (028)623-3294



特集①

ご存知ですか？「森の楽校」

— 今年度は森づくり講座を9回、

グリーンスタッフ養成講座を5回開催 —

「森の楽校」では、下刈り作業、間伐作業などの体験講座を通して、森林に親しんでもらう機会を提供しています。また、地域の森づくり活動のリーダーを養成するグリーンスタッフ養成講座も実施しています。森づくり活動の未経験者の方から上級者の方まで参加できるプログラムを年間を通じて開催しました。

H26年度もさまざまなプログラムを開催予定です。是非参加してみてくださいね！！

森づくり体験講座

森づくり活動に初めて参加する方からチェンソーを使う上級者の方までレベルに合った体験講座を実施します。



下草刈り体験(H25.7.6実施)



間伐体験(H25.9.21実施)

グリーンスタッフ養成講座

テーマ別に専門知識を学び、地域における緑づくりや森づくり活動における指導者として活動するグリーンスタッフを養成します。



緑づくり(H25.9.28実施)



森林と生物多様性(H25.12.1実施)

★参加者の声（アンケート結果より）★

- ・このような講座が無料で受けられるのはうれしいです。早速帰ったら実行したい。(9/28参加者)
- ・想像以上に山を歩き楽しみながら森の勉強になりました。トレッキングにもなり、健康づくりにもなりました。ありがとうございました。(12/1参加者)
- ・里山の生態系を残し守っていくことは、むずかしい問題と思いました。長年継続して保全していくことが大切な事。(12/8参加者)
- ・地元の問題を改めて考えさせられました。子どもたちにも伝えていきたいことです。(12/21参加者)

特集②

効果的な緩衝帯整備でイノシシ被害軽減!

— 明るく安全な里山林整備事業の活用を —

栃木県では、地域の方々が、獣害対策のための学習会や対策案の検討を地域ぐるみで実施する、総合的なイノシシ対策を促進しています。

イノシシ対策は、「これだけやればよい」という特効薬はありません。捕獲はもとより、イノシシを寄せ付けられない環境づくりを地域が一体となって行っていくことが大切です。

そこで、イノシシ対策のポイントをいくつかご紹介します。

(1) 守るべき場所はどこか？



守るべき場所とは、実際に使用している農地や住宅です。

どこを守りたいのかを確認し、地図に整理するなどして地域で共有します。

地図にするとわかりやすい。

(2) イノシシにとって過ごしやすい場所はどこか？



竹やぶ

やぶ化した森林

地面におちている刈

やぶ化している森林や竹林はイノシシの好む場所です。カキやクリ、ドングリなどもイノシシを誘引してしまいます。

イノシシが過ごしやすい場所を明確にすると、対策もはっきりしてきます。

(3) どのような対策が必要か？



柵の設置

「明るく安全な里山林整備」を活用した緩衝帯の整備

不要な果樹は伐採

守るべき場所は進入防止柵を設置して守ります。

柵の周囲はイノシシが好む場所がなくなるようやぶを刈払う、不要なカキやクリの木は伐るなど、緩衝帯整備をします。

詳しいイノシシ対策については「シシナビとちぎ」で紹介しています。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d04/eco/shizenkankyou/shizen/documents/shishinabi.pdf>

☆「シシナビとちぎ」は環境森林事務所(県西・県東・県北・県南)、矢板森林管理事務所でも配布しています。

特集③

バスツアーで学びに行こうよ! 「とちぎの元気な森づくり」

— 奥山林・里山林整備箇所を巡り、木工体験などを行いました —

とちぎの元気な森づくり県民税事業の実施箇所等を巡り、県民の皆様には事業の内容や効果を知っていただく機会を創出するとともに、県民協働の森づくりへの理解をより一層深めていただくため、県ではバスツアーを開催しています。

毎年県北・県南・県東・県西の4地区ごとに開催しています。

翌年度も開催予定です。参加すると森林整備に対する理解が深まるとともに、とちもりくんグッズが手に入るかも！？



県北地区

- 1 開催日 平成25年10月6日(日)
- 2 参加者 21名



●奥山林整備事業で間伐した箇所や、里山林整備事業できれいにした箇所を見学しました(写真左、中央)。



●木工体験で本棚や時計を製作しました(写真右)。



県西地区

- 1 開催日 平成25年10月12日(土)
- 2 参加者 38名



●奥山林整備事業で獣害対策を実施した箇所を見学しました(写真左)。

●森づくり記念イベントと共催し、マイ箸作りも実施しました(写真右)。





県東地区

- 1 開催日 平成26年1月25日（土）
- 2 参加者 21名



●森林の大切さについて、話を聞き、実際にのこぎりを使って間伐体験を行いました（写真左）。

●間伐した木を使って世界にひとつのコースターを作りました（写真中央）。



●木の良さ、すばらしさについて話を聞き、参加者で協力しながら木製ベンチを作りました（写真右）。



県南地区

- 1 開催日 平成26年2月2日（日）
- 2 参加者 25名



●整備した里山や獣害対策への取組を紹介し（写真左上、中央）、奥山林ではロープ巻きも体験していただきました（写真左下）。



●森林に親しむ取組をしている団体にも支援していることを知っていただきました（写真右）。

特集④

とちぎの元気な森づくり基金にご寄附をいただきました

「とちぎの元気な森づくり」の取組にご賛同いただき、平成25年4月から12月までに

トヨタウッドユーホーム株式会社	様
イオンリテール株式会社 北関東カンパニー	様
やしお会館	様
国際ロータリー第2550地区	様
株式会社 カスミ	様

よりご寄附をいただきました。



皆様からいただきましたご寄附は、「とちぎの元気な森づくり県民税」と合わせて、荒廃した奥山林や身近な里山林の整備、森林ボランティアへの支援や森林・森づくりの大切さについて理解促進を図る取組などに大切に使用させていただきます。

この誌面をお借りして、改めてお礼申し上げます。



木づかい推進部会

木づかいスタッフ交流研修会を開催しました

— 平成26年3月2日（日）宇都宮市冒険活動センターにて —

木づかいスタッフは、学校や地域での「木工教室」をはじめとする県民の「木づかい活動」をサポートするボランティアスタッフです。

木工工作のスキルアップ及びスタッフ同士の交流を図るため、木づかいスタッフ交流研修会を開催しました。

今回は、県内で産出されたヒノキを使った「万能台」を製作しました。研修を通じて、スタッフの皆様には、木目に応じた木のつかい方や、のみを使ったほぞ加工など、木の加工や木組みの楽しさを実感しながら、木工工作のサポートに役立つスキルを学ぶことができました。

これからも、木づかい推進部会では、木づかいスタッフの協力を得て、県民の皆様には「木づかい活動」の楽しさをお伝えしてまいりますので、お楽しみに！



講師に斎藤毅先生（右）、斎藤秀男先生（左）をお迎えして、ヒノキ「万能台」を製作しました。



実際にのみを使って、ほぞ穴を彫りました。参加者からは「難しい〜！」との声が続出！！



斎藤秀男先生からは、鉋がけの実演も見せていただきました。参加者からは、プロの技を前に驚きの声。



完成です。県内で産出されたヒノキ材でできています。



大雪の中、とちぎの元気な森を体感!

— 県北地区でひたちなか市民との交流事業を実施 —

森林が有する公益的機能は、本県のみならず、下流域の都県もその恩恵を受けています。このため、本部会では、下流域都県の「とちぎの元気な森」への理解と関心を深め、本県と一体となって森林を守り育てていただくことを目的として、下流域都県民と本県民の交流による森づくり活動を県内各地で実施してきました。

今年度の交流事業は、平成26年2月8日（土）に、那須塩原市と県北環境森林事務所との連携により、同市と姉妹都市提携を結んでいる茨城県ひたちなか市民25名、那須塩原市民16名の方にご参加いただき、県北地区で実施しました。

① 予定より約1時間遅れで、到着。
無事で何よりでした。



③ とちぎの元気な森の恵みのことを
を忘れないでくださいね(〇^)/



② 楽しみにしていたスノーシューハイキング。
寒さも吹き飛ばしました。



当日は、未明から雪が降り積もり、大雪警報が発令される中での開催となってしまい、残念ながら、当初予定していた行事を短縮などしての実施でしたが、事故もなく無事に交流を図ることができました。

大沼園地で実施したスノーシューハイキングでは、降り積もったばかりの新雪の感触にわくわくしながら、みんなでフィールドサインを探したりして冬の森を観察。とちぎの森の豊かさを満喫しました。

また、座学ではありましたが、とちぎの元気な森づくり活動などの説明に熱心に耳を傾けていただき、参加されたひたちなか市民の方には、「木を植えて、育てて、伐って、利用する」という森林資源の循環利用により、健全な森林が保たれるということについて理解を深めていただけたことと思います。

まずは「知る」ことから始まります

— 様々な方法で森づくり活動をPRしています —

森づくり推進部会では、県民協働の森づくりの大切さを広く県民の皆様に御理解いただくため、様々な方法で元気な森づくりのPRを行っています。



イベント会場では、間伐の必要性を説明したポスターを展示したり、ノベルティや森づくり活動を紹介するリーフレットの配布を通じて、とちぎの元気な森づくりや「元気な森づくりの日」のPRに取り組んでいます。



バスの側面広告でもPR!

また、PR活動には、とちぎの元気な森づくりシンボルマーク「とちもりくん」をプリントしたスタッフジャンパーを着用したり、イベントに参加いただいた方にお配りするノベルティのデザインにとちもりくんを使うなど、「とちもりくん」と一緒にPRに取り組んでいます。



のぼり旗や
スタッフ
ジャンパー、
ノベルティに
僕がプリント
されているよ!